



南部地協通信

■発行／
連合佐賀南部地域協議会
■発行人責任者／
田栗多佳子

第178号

2026年1月1日

1月

新年明けましておめでとうございます



平素より連合佐賀南部地域協議会の諸活動にご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。2025年を振り返りますと、様々な出来事がありました。4月は大阪万博が開催、世界中から多くの方が来場し、大きなインパウンド効果を生みました。政治に目を向けて夏の参院選、女性初となる高市首相の誕生や、新たに自民党と維新の会による連立政権が発足しました。また九州では確認されていませんが、熊による被害が各地で発生し、人間と野生動物との距離が縮まっていることを痛感しました。

2026年は2月に冬季オリンピック、3月にはWBCと、大きなスポーツイベントが立て続けに開催されます。日本勢の活躍を期待するとともに、スポーツを通じて平和と友好に満ちた世界が広がることを期待せずにいられません。また今年は「丙午（ひのえうま）」の年で、情熱や活力、前進、飛躍といったエネルギーに満ちた年とされています。我々も丙午にあやかり、日々の労働運動において情熱をもって一歩ずつ前進していきたいと思います。

春闘について触れたいと思います。2025春闘は基本方針であります5%以上の賃上げは達成し、さらに2年連続で5%台の賃上げが実現しました。また佐賀を拠点とする地場の企業においては6%台の賃上げとなり、皆さんの努力が実を結ぶ結果となりました。しかし中小企業と大企業との賃金格差や、賃金は上がっても急激な物価高の影響による家計への負担増加など課題は山積みです。

このような課題を改善すべく、我々は2026春闘も引き続き「底上げ」「底支え」「格差是正」に取り組みます。そして働き甲斐のある社会と「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて単組・産別の枠を超えて、働く仲間の待遇改善に向けて粘り強く戦っていきます。

最後になりますが、労働者を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。我々南部地協は労働者の代表として、社会の不条理と闘わなければなりません。今年も連合方針のもと地協運動の原点となります「地域に顔の見える運動」を追求し、働く仲間にとて「必ずそばにいる存在」として労働運動に取り組んで参ります。

昨年同様、皆様方のご協力とご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

連合佐賀南部地域協議会役職員一同

《1月の連合佐賀・南部地協の取り組み》

連合佐賀関係

- ◇1月 8日(木) 2026年新春賀詞交歓会
- ◇1月 21日(水) 第3回執行委員会
- ◇1月 24日(土) 日出生台シンポジウム

南部地協関係

- ◇1月 16日(金) 第1回青年委員会幹事会
- ◇1月 30日(金) 第2回幹事会(四役会議) 合同



二〇二六年度役員体制一四役・幹事・会計監査
一年間よろしくお願ひ申し上げます



R&PV

2026 年度活動日程（予定）

日	曜	1月行事予定	日	曜	2月行事予定
1	木	年始閉局	1	日	
2	金	年始閉局	2	月	
3	土	年始閉局	3	火	
4	日	年始閉局	4	水	
5	月		5	木	
6	火		6	金	労福協理事会
7	水		7	土	連合佐賀 第66回地方委員会
8	木	連合佐賀・労福協共催新春賀詞交歓会	8	日	
9	金		9	月	
10	土		10	火	
11	日		11	水	建国記念日
12	月	成人の日	12	木	
13	火	多久市行財政改善協議会	13	金	
14	水	小城地区旗開き	14	土	連合佐賀 中小民間労組交流集会
15	木	多久地区旗開き	15	日	
16	金	地協 青年委員会第1回幹事会	16	月	
17	土		17	火	
18	日		18	水	
19	月	令和7年度全国年金委員研修会	19	木	自治体等春闇要請キャラバン
20	火	//	20	金	//
21	水	連合佐賀第3回執行委員会	21	土	南部地区労福協 ボウリング大会
22	木		22	日	
23	金		23	月	天皇誕生日
24	土	1, 24日出生台シンポジュウム	24	火	自治体等春闇要請キャラバン
25	日		25	水	
26	月		26	木	
27	火		27	金	九プロ春闇キャラバン引継(長崎→佐賀)
28	水		28	土	
29	木				
30	金	地協 第2回幹事会(四役会議)合同			
31	土	県労福協 第41回文化講演会			

★南部地協青年委員会第13回定期総会の開催

～声を上げよう！ 明日のために～

□とき 2025年12月3日（水）18時30分開会

□ところ 武雄市北方公民館「視聴覚室」

□参加数 24名（代議員10名、オブ2名、来賓3名、役員7名、事務局2名）

※代議員総数21名中 出席10名 委任状9名



総会には来賓として、南部地協より中山慎也議長はじめ、連合佐賀青年委員会 林祐介事務局次長、北部地協青年委員会 小野友也委員長に出席をいただきました。

総会は、澤山副委員長の開会あいさつで始まり、議長に溝上代議員(自治労・白石町職労組)を選出、山口委員長の「青年委員会は、若手組合員が声を上げ、仲間同士がつながり、安心して働き続けられる職場づくりを目指し、今年度も課題別学習会、地協と合同の政治学習会、地域交流会を開催した。2026年度の活動についても引き続き、その時出来ること、やらなければならないことはしっかり取り組んでいくことを基本に、果たすべき役割と組織の強化を図っていきたい。」との主催者あいさつに続き、来賓を代表し南部地協中山議長、連合佐賀青年委員会林事務局次長よりあいさつを受けました。また、江頭幹事より、連合佐賀東部地域協議会佐々木青年委員長からいただいたメッセージが披露されました。

その後、坂口事務局次長より2025年度活動経過の報告、原巻事務局長より2026年度活動方針の提案、2026年度新役員体制の提案、松尾幹事より総会スローガンの提案がなされ、採決の結果いずれも満場一致で承認されました。

続いて、新旧役員の紹介があり、新役員を代表し澤山新青年委員長より「よき仲間づくり、組織づくりを念頭に活力ある青年活動を展開し、青年委員会の活動を皆さんと共に作り上げていきたい」とのあいさつがありました。

前田幹事の閉会あいさつの後、最後に澤山新委員長の「団結ガソバロー」で定期総会を終了しました。

前総会から今総会において以下の方々が退任されています。在任中は大変お世話になりました。ありがとうございました。

委員長	山口瞬	UAゼンセン：森鉄工労働組合
事務局長	原巻啓太	自治労：白石町職員労働組合
事務局次長	坂口潤	自治労：小城市職員労働組合
幹事	前田竜佑	自治労：太良町職員労働組合
幹事	一ノ瀬宏樹	基幹労連：SUMCO労働組合（9月退任）